

「海外人材の定着促進のための具体化プラン」に係るパブリックコメントの要旨及びこれに対する府の考え方

項 目	意 見 の 要 旨	府の考え方
就業促進 24件	<p>非常によいプランである。東京ではあまり聞いていないものなので羨ましい。ぜひ継続して取り組んで欲しい。</p> <p>非常に良いプランで、感動した。</p> <p>留学生の就職に関することは、大学の責務であると思うが、大学によって留学生の受入規模も違っており、対応が異なるため、大学と連携して京都府がやっていただくことはありがたいことである。</p> <p>プランの目的は非常に分かり易く、悪くないと思う。</p> <p>このプランは、近い将来の日本の失業率を考えた増加対策なのか。失業率が増加するだけではないのか。</p>	<p>優秀な留学生を積極的に受け入れ、京都の国際競争力を高め、日本企業の発展に寄与するとともに、人材育成を通じて国際的に貢献することを目的としています。</p>
	<p>京都在住の留学生のみならず、大阪や関東在住の留学生も対象に入れて欲しい。</p> <p>京都に在学して、東京等で就職した場合に、フォローの対象になるのか。</p> <p>「京都企業」といっても、大阪や東京の事業所に就職する場合も、この対象になるのか。</p> <p>本社は京都にないが、京都に事業所がある場合は、この対象になるのか。</p> <p>留学生が京都で就職しても、海外や他の地域に異動する可能性があり、この時のフォロー策も考えているのか。</p> <p>このプランに係る取組による効果の拡大について、どう考えているのか。</p>	<p>国のアジア人財資金構想を活用した留学生の就職支援は、地域ごとに取り組まれています。</p> <p>京都府では、京都の国際競争力を高めるため、優秀な留学生が京都企業に就職してもらうことが望ましいと考えますが、それに限るものではありません。</p> <p>就職後の相談についても海外人材ジョブカフェ等で対応できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>プランの具体化を通じて、より多くの留学生を京都企業への就職につなげていくことにより、効果を高めていきたいと考えています。</p>
	<p>就職した留学生、相談者、企業人材育成担当者の様々なメッセージ等の情報提供をして欲しい。</p> <p>実際に京都の企業に就職して活躍している先輩の話聞く機会を設けたり、冊子に取り上げるなどして、受け入れ側の話だけでなく、就職する側の声について、失敗談も含めて伝えていくことが必要。</p> <p>留学生は日本企業への就職について、情報が乏しい、意識が低い、日本社会で活躍する姿を想像できない問題があるため、留学生向けキャリアデザイン講座の開催をして欲しい。</p> <p>留学生が就職するための情報源が少なく、就職活動が遅れてしまう状況にある。</p> <p>日本の大学に入学した時点から日本企業への就職についてのキャリアプランを教える必要がある。</p> <p>海外人材ジョブカフェの相談に対する解決方法について、共有できるよう情報発信して欲しい。</p> <p>日本企業に適した人材とは何か分からないので、自己分析する方法を教えて欲しい。</p>	<p>海外人材の活用拡大のため、就職した留学生や受入企業の体験談等を収集し、積極的に提供していきたいと考えています。</p> <p>日本企業への就職につながる実践的な研修や留学生等海外人材の就職に関するきめ細やかな相談、指導等の中で、実施していきます。</p>

	<p>留学生が就職すると、健康保険、年金、ビザ、年金、税金（二重課税）等の問題などが起こることがあるが、どこに相談すべきなのか。 留学生の研修の時にビザの種類や手続き、日本で生活する上での社会保険・年金などの義務と権利、といった母国とは異なる実状について理解を深めさせることが重要</p>	<p>留学生の企業への就職後の情報について、ガイドブック等を作成し、提供していきます。 留学生が就職後に生活をしていく上で、必要なビザの手続きや年金等の社会保険制度等に関する研修も実施していきたいと考えています。</p>
	<p>留学生を企業に受け入れたいと思っているが、京都ではどこに相談してよいか分からない。 企業が留学生を受け入れた場合、就職によるビザの変更等必要な手続きが分かるマニュアルを作成して欲しい。</p> <p>就職につながるインターンシップを行う場合の期間は、1箇月程度が必要 企業でのインターンシップによる留学生の受け入れは必要であるが、企業の実態からすれば就職に結びつくとは限らないのではないか。 就職相談やインターンシップまでではなく、ぜひ就職につながるように取り組みられることを期待する。</p>	<p>海外人材ジョブカフェにおいて、平成18年3月から企業の雇用相談についても受け付けています。 留学生等海外人材の雇用に関する関連情報を取りまとめたガイドブック等を作成し、企業へ提供することとしています。 留学生と企業ニーズに合わせた組み合わせ、きめ細かくマッチングを進め、取り組んでいきたいと考えています。</p>
	<p>外国人社員が企業を辞める際に企業の機密情報を持ち出すと聞く。こうした対策を各企業に任せるだけでよいとは思わない。</p>	<p>企業の情報管理については、必ずしも外国人社員の問題だけではないと考えていますが、この点については、研修上で注意喚起を促すなど、十分配慮しながら取り組んでいきたいと考えています。</p>
住環境整備 4件	<p>留学生等外国人が企業に就職でき、居住のための住宅を借りようとしても、連帯保証人が必要となるため、借りられない状況が起きている。企業が保証人となることは困難であり、就職できなくなってしまうので、何とかならないか。今後、留学生の増加が予想されるため、住環境をはじめとする環境整備が必要。京都で暮らすために、まず安心して住める必要があります。</p>	<p>こうした課題を解決するため、国の制度も活用しながら、不動産関係者への啓発やコーディネーターの育成を通じて住環境の整備を進めます。</p>
	<p>コーディネーターは、入居者と家主の間に入るものと推測できるが、弱い立場となる留学生を支援することが必要である。また、家主には、留学生の住まいの確保を促進するためのコーディネーター等の制度をPRして住宅供給に関する協力依頼を行うことが効果的である。</p>	<p>留学生や家主のそれぞれの立場を踏まえながら、専門的なコーディネーターを育成し、効果的に活用できるよう工夫していきます。</p>
	<p>住環境整備の重点課題について、主体を明確にしたほうが有意義なプランになる。</p>	<p>大学等の役割を踏まえ、プランのとおり修正します。</p>
その他 1件	<p>留学生には、規範意識が低い人もいるため、法律を守る意識を持たせることが大切であり、こうしたことへの対応が必要</p>	<p>研修・相談事業等を通じて生活上のルールを守ってもらうための指導や支援も実施していきたいと考えています。</p>